

たぐすい

JFグループ兵庫



室津漁業協同組合 照岡永都さん

特集 なぎさ信漁連 中期経営計画

CONTENTS

- | | | | |
|----|----------------------------------|----|---------------|
| 2 | 特集 なぎさ信漁連 中期経営計画 | 13 | 大輪田塾だより |
| 4 | 輝く若手漁業者インタビュー 照岡永都さん | | JF仮屋 水産教室開催 |
| 6 | 各団体からの通常総会報告 | 14 | ようそろ |
| 10 | 瀬戸内海再生議員連盟総会 | | ガザミふやそう会 会員募集 |
| 11 | 北朝鮮の弾道ミサイル 齋藤知事へ要望
海難防止活動について | 15 | 兵庫JCC通信 |
| 12 | 大輪田塾 第19期生 募集 | 16 | SEAT CLUB情報 |

特集 なぎさ信漁連 中期経営計画

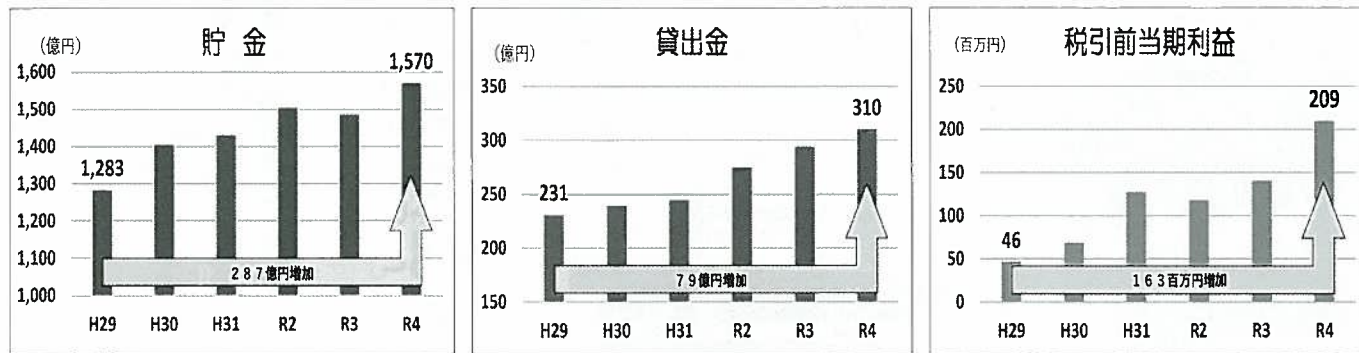
1 はじめに

本会は、平成29年4月の合併から6年が経過し、この間3年ごとに策定した中期経営計画に基づき事業運営に努めてまいりました。

第1期(2017~2019)では、なぎさ信漁連としての「スタンダード構築」に向け、組織・機構・人事等諸制度の浸透と出向く体制による新事業推進体制の定着を図り、第2期(2020~2022)では、創りあげたスタンダードをもとに「新ビジネスモデルの確立」を目指し、金融部門のみならず漁家経営支援に資する非金融部門サービスにも携わってまいりました。

向こう3ヶ年においては、これまでの経緯を踏まえ「浜の未来を豊かに変えるマリンバンク」を合言葉に「愛される浜の金融機関」を目指すべく第3期(2023~2025)「中期経営計画」を策定し、6月27日開催の通常総会で承認頂きましたので、「拓水」の紙面をお借りして利用者の皆様にご案内させていただきます。

2 これまでの事業推移



合併以来、一貫して取り組んできた安定的な収支構造の構築については、飛躍的に伸びた事業量と計画的なコスト削減により、概ね基礎部分は完成したものと判断しております。その結果、会員をはじめとした利用者の皆様のご理解とご協力を賜ったことで、資金・収支面では所期の目標を上回る実績を達成することができました。

3 中期経営計画(2023~2025)の概要

I 基本目標

これまでの6年間で作り上げてきた組織・機構・運営体制・収支構造のさらなるステージアップを基本目標とし、漁協等関連団体や農林中金と連携したマリンバンクとしての機能を発揮し、漁村地域への貢献が可能となる事業運営を基本目標とします。

II 重点目標

① 漁村地域への貢献

第2期中期経営計画での「新ビジネスモデルの確立」の柱として、「事業承継支援」や「ビジネスマッチング」等を実施してきましたが、いずれも一部地区・特定漁種に限定したものでした。これを全体的かつ継続的に実施していくために、中心的な役割を担う専担部署の「融資部兼漁家経営相談室」を拡充します。

② 組織基盤強化のための体制整備

第2期中期経営計画での「新ビジネスモデルの確立」のための基盤強化策として、ローコスト運営に向けた店舗のチャネル転換(フルタイムでの窓口営業を時間若しくは曜日を限定した営業への切替え)を令和2年度末で完了しましたが、従前に近い顧客サービスを維持するために必要な人員を配置したことで、当初想定したコスト削減には至りませんでした。また、高度化する金融サービス面においても、漁業系統金融機関の立ち遅れ感はありません。

この状況下において、存在意義を発揮して行くためには、より漁業・漁村に特化した協同組合金融機能の強化が最良の選択肢と判断します。ついては、キャッシュポイント(現金の受け払い)としての店舗の概念を根本的に見直し、広義での漁村地域貢献のための拠点としての店舗のあり方を検討します。

③ 収支構造のさらなる安定化

令和4年度における即効性ある収益向上策と経費削減策の実践により、一定の収支改善効果を得ることはできましたが、漁家経営支援を担う本会の姿を支えるもう一段階上の収支構造(安定的な配当と計画的な内部留保の財源確保)の構築を目指します。

(2023.4.1~2026.3.31)『愛される浜の金融機関を目指して』

なぎさ信用漁業協同組合連合会

収支構造の安定化に向けた具体的施策は次のとおりです。

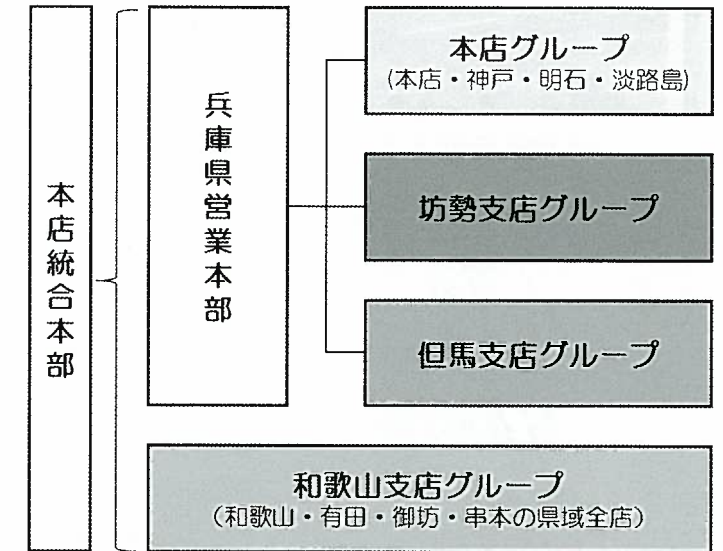
a 資金運用の多様化

農林中金の還元に過度に依存しない収益構造確立に向け、金利リスク等の規制を勘案しつつ、地方公共団体向け融資やシンジケートローン(他金融機関との協調融資)等の拡充や安全性の高い金融商品での収益補完を図ります。

b 経費率改善に向けたグループごとの収益性の検証と改善・強化

現在、本会は9支店9営業店(委託営業店を除く)を有していますが、これを右に示す「本店」「坊勢支店」「但馬支店」「和歌山支店」の4つのグループに集約し、グループ毎の収益性に対応した人件費・物件費が適正かつ妥当な水準であるか検証したうえで、採算性の低いグループについては店舗機能の絞り込みによる改善を進め、採算性の高い店舗は市場開拓により、さらなる利益率の向上を図ります。

この取り組みにより、本計画の最終年度にあたる令和7年度において、経費率(事業収益に占める事業管理費の割合)75%達成を目標に定めます。



④ 内部管理態勢の充実

本計画実現のためには限られた経営資源(人材)での効率的な運営が重要となることから、職員の事務負担を省力化、簡素化する必要があります。従いまして、内部事務を見直すとともに可能な限り事務の電子化を実施します。

また、本年度からの会計監査においては、より厳格な会計制度の適用と内部統制(企業が適切に経営や事業を進めていくためのルールや仕組み)の構築が強く求められることから、これまで漁協信用事業当時の延長線上で実施してきた本会特有の事務処理を廃止してまいります。

⑤ 人材確保

本計画実現のためには特定のスキルを有する人材が相当数必要となることから、計画的な人材育成と職員が自発的に能力開発を行う組織風土の醸成に努めます。

また、全国的に賃金水準が上昇するなか、給与制度についても働きに見合った給与水準への底上げを行い、次世代の本会を担う人材確保に繋げてまいります。

III 数値目標

計画期間中の会員の皆様への出資配当率については0.50%を目指します。

また、財産及び損益状況並びに自己資本比率の見通しについては、下表のとおりです。

(単位:百万円)

	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
貯金平均残高	154,045	151,000	150,000
貸出金平均残高	31,147	31,380	31,436
経常収益	1,153	1,143	1,114
経常利益	142	148	130
自己資本額	4,547	4,622	4,688
自己資本比率	8.86%	8.67%	8.95%

4 おわりに

本計画を着実に実践することで安定経営を継続し、皆様の信頼に応える「愛される浜の金融機関」であり続ける最大限の努力をしまっている所存ですので、引き続きご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



©2022 ANAN AND Tm.

若手漁業者インタビュー

室津漁業協同組合

照岡永都さん



吉田和将さん

照岡永都さん

子がいるんですけど、お互い応援しあう形で背中押ししてくれました。

●照岡さんの着業当初の印象は？

(吉田さん) 声小さい、耳聞こえん。まあでもまじめやなゆう感じやで。嫌って言わんとやるし仕事覚えるの頑張った。3年経った今はちょっと声おっきくなったな。たまに聞こえへんけど。作業はある程度把握してきこうから言わんでもやれるように

はなつてきとつかな。あとは船の運転もちよつとずつ練習してって感じやな。

●船の免許は持ってますか？

(照岡さん) 小型船舶1級は持っています。

●吉田水産に入った経緯は？

(照岡さん) 進路指導の先生に室津でカキの養殖で募集かけてほしいってゆったら、5、6社お話しいただいて、吉田水産に入りました。

●吉田水産を選んだ理由は？

(照岡さん) 見学させてもらったときに、アットホームで働きやすいかなと思っただけです。

●実際に着業してみてもいかがですか？

(照岡さん) 1年目はやっぱりしんど

●自己紹介をお願いします。

(照岡さん) 照岡永都です。21歳です。たつの市出身です。

●漁業種類について教えてください。

(照岡さん) カキの養殖と、船曳網漁業をしています。船曳は今シラスで、冬はイカナゴを獲りに行ってます。

●1日の過ごし方は？

(照岡さん) 朝2時くらいに起きて、シラス行って、帰ってくるのが昼くらい。そのあとは車が好きなのでドライブ行って寝ます。冬のカキの仕事は5時前から仕事始まって、1日仕事やってご飯食べてお風呂入って寝るだけです。仕事して寝るの繰り返しになります。

●漁師になるうと思っただきっかけは？

(照岡さん) 香住高校で食品加工を学んでいたんですけど、しんどい経験いっぱいして得た知識を活かして、また新しいことを学べたらなと思って漁師の道を選びました。

●香住高校にはどんなコースが？

(照岡さん) 船関係のコースと、食品加工、養殖の3つですね。先輩にドルフィントレーナーを目指してる方とか、学者になりたいっていう方もいました。僕は缶詰とか作っていて、文化祭では近くの高校と香住高校で販売し

いときもありましたね。メンタル的にも体力的にも。慣れない仕事なのでイカナゴとかシラスとかにも分からないまま行って、いっぱい怒られながら慣れていきました。

●実際に着業してからのギャップは？

(照岡さん) カキの時やったら船で出てる時間が多いと思ってたんですけど、意外と陸で作業する時間が多くてよかったです。

●照岡さんが不安に思うことはありませんか？

(照岡さん) カキが今年小さかったことですかね。大きき的にはものによつてはよかった時の半分とか。身が確実に小さくなってますね。

●照岡さんのように働きたいという声はあるんですか？

(吉田さん) うちにも一人若い子がきた。でもしたいっていう子はおるやろうけど、どこに言ったらええんか分からんねやと思う。

●照岡さんにメッセージをお願いします。

(吉田さん) 船乗れるようになったらもうちょい幅広がるな。これも急にやれっていうわけじゃない。けどやらなアカンし、乗らな分からんからどんだだけチャレンジしていくかっていうとこに期待。若い



合ったりしてました。

●実習船とか乗りました？

(照岡さん) 1年の夏に体験航海があって、島根県の隠岐の島に行きました。

●酔いはしらないですか？

(照岡さん) 高校ではトップクラスです。結局は応援してくれました。

●漁師になることについて家族の反応はどうでしたか？

(照岡さん) 心配される部分はありましたね。続けられるんかっていうところで。結局は応援してくれました。

●同級生の反応は？

(照岡さん) 同級生も遠洋に行ってる

うちは怒られるもん。1回失敗したらええ、2回目は失敗せんようにしたらええ。

●今後の抱負をお願いします。

(照岡さん) 船の運転もそうなんですけど、これからも新しいことにチャレンジしていけたらなと思います。

●これから漁師を目指す方へのメッセージをお願いします。

(照岡さん) 最初は分からない事ばかりやと思うんですけど、やっていて慣れてきたらすこいやりがいがある仕事やと思うんで、頑張ってもらえればと思います。

●本日はありがとうございました。



各団体からの通常総会報告

なぎさ信用漁業協同組合連合会

6月27日(火)明石市内のホテルで「なぎさ信用漁連令和5年6月通常総会」が開催されました。社領弘経営管理委員会会長の挨拶の後、JF兵庫の糸谷末二郎組合長を議長に選出して議事が進められ、第1号議案から第7号議案まで、全7議案が滞りなく可決・決定されました。

「愛される浜の金融機関」の実現に向け、発足以来作り上げてきた組織・機構・運営体制・収支構造のさらなるステージアップを目指して第3期目となる「中期経営計画(R5・4・1からR8・3・31)」を策定し、初年度である令和5年度については、「店舗政策の見直しによる経営の効率化」を年度目標に

掲げ、新たな店舗体制への転換に取り掛かることの承認を得て総会は閉会しました。



兵庫県漁業共済組合

6月27日(火)明石市内のホテルで令和5年通常総会が開催されました。川越一男組合長は「漁業共済事業、地域共済事業を合わせた加入実績は332億4,800万円となり加入計画を18億3,100万円上回る結果となった。一方、支払実績は23億6,800万円となり、前年に比べ22億5,600万円の減となった。収支は事業部門、管理部門ともに黒字となり1億1,500万円の剰余金も計上できた。今後も「ぎよさい」と「積立ぶらす」の一層の定着に努めていく」と挨拶されました。その後、令和4年度の事業報告をはじめ、令和5年度事業計画などが上程されました。令和5年度事業計画は、「ぎよさい」と「積立ぶらす」は漁業者に十分認知されてきているが、より一層の定着を期し、「ぎよさい普及推進全国運動」を展開するものとし、①ぎよさい普及推進全国運動に呼応した取組②中央・地方一体的推進活動の展開③行政庁・系統各団体との連携④広報活動の活発な展開⑤漁業共済掛金助成等事業の活用⑥研修活動の充実強化と組織活性化⑦漁業者サービスの充実等⑧制度の充実等に対する取組とし、本年度加入目標金額を漁獲共済150億2,000万円、養殖共済5億7,400万



円、特定養殖共済167億4,500万円、地域共済6億8,000万円、積立ぶらすの漁業者積立額を9億3,000万円としました。

兵庫県JF共済推進本部

6月16日(金)神戸市垂水区において兵庫県JF共済推進本部の2023年度通常総会が開催されました。

開会に先立ち、戎本推進本部長が開会に際し謝意を述べられた後、日頃の推進活動に触れ、「2022年度は3か年計画の最終年度でありましたが、本3か年はコロナとともに過ごした3年間であります。コロナにより推進活動は停滞しましたが、コロナにより得たものもあると考えています。最前線にいらっしゃる組合役職員の方々に今年度も推進本部一丸となり全力でサポートしてまいります。事業環境が厳しさを増す中、推進活動にご尽力賜りました組合役職員の皆様に衷心より感謝申し上げます」と感謝の意を表しました。



引き続き、来賓として都倉漁業経営班長が山下水産漁港課長の祝辞を代読され、共水連本所山下常務、共栄火災海上保険株式会社神戸支店坂倉支店長が順次祝辞を述べた後、戎本推進本部長が議長となって提出議案の審議に入りました。

最後に、今回就任された橋本推進本部長が「JF共済を取り巻く事業環境は一層厳しさを増しておりますが、更なる普及拡大のため運営委員一丸となり一層努力してまいりますので、何卒会員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と挨拶を述べ総会は閉会しました。

一般社団法人播磨漁友会

6月30日(金)、姫路市内において一般社団法人播磨漁友会(井上仁会長・JF岩見)の第48回通常総会が開催され、会員16名並びに行政機関、系統団体からの来賓の方々が出席されました。

開会にあたり井上会長が挨拶し、兵庫県農

林水産部水産漁港課 山下正晶課長、JF兵庫漁連 田沼政男会長が来賓を代表し祝辞を述べました。総会は井上会長が議長を務め、令和4年度事業報告などの3議案が原案通り可決承認されました。

一般社団法人淡路水交會 地産地消の推進・国・地方・漁業者の連携強化を図る

一般社団法人淡路水交會(東根壽会長・JF淡路島岩屋)は、6月7日(水)に、洲本市内のホテルで第13回通常総会を開き、17会員の代表者や県議会、行政機関、系統団体からの来賓出席者ら40名が出席しました。審議に先立ち、東根会長は「地産地消の推進を通して地魚の鮮魚販売拡大に繋がるように取り組む。第二期 浜の活力再生プランの取り組みを更に進め、収益性の高い操業体制に向かつて安定に進めるよう水交會傘下漁協が密に連携を取りながら推進したい。」と挨拶しました。

続いて、兵庫県議会 太田康文議員代理、藤原祥隆淡路県民局長、田沼政男JF兵庫県漁連会長がそれぞれ来賓を代表し祝辞を述べられました。総会はJF沼島 川口組合長を議長に選出し、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、役員補欠選任などの議案が原案通り可決承認された後、小磯富男副会長(JF南あわじ)の閉会の挨拶で終了しました。



摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会（14会員・部員計253名）は、6月3日（土）、兵庫県水産会館において、2023年度通常総会を開催しました。冒頭、竹内佑騎会長（JF相生）より、「2022年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年行われている活動の中止を余儀なくされました。2023年度については感染状況が落ち着きつつあるため、徐々に活動を再開し、我々青壮年部にしかできない活動を行ってきたい。」と挨拶がありました。総会は2022年度事業報告、2023年度事業計画の他、「ガザミふやそう会」の事業報告および事業計画、役員改選の議案が審議され、すべて原案のとおり承認されました。

総会後の学習会では、「兵庫瀬戸内における漁業の維持とガバナンス」と題しまして、関西学院大学名誉教授田和正孝博士より、講義を受け、参加者は熱心に聞き入っていました。最後に、親睦会として豪華な賞品が多数当たるくじ引き大会が行われ、大いに盛り上がった後、総会の一連の行程が終了しました。



淡路地区漁協青壮年部連合会

5月26日（金）、淡路水産センターにおいて、淡路地区漁協青壮年部連合会（16会員 部員計233名）は2023年度通常総会を開催しました。山崎大輔会長（JF淡路島岩屋）より開会の挨拶、来賓紹介に続いて谷真典副会長（JF南あわじ）を議長に議事が進められ、2022年度事業報告・2023年度事業計画、役員改選等の議案が審議されすべて承認されました。新年度事業計画として、栽培漁業・資源管理型漁業の推進、環境保全への取り組みなど7つの項目のうち、『淡路島の魚』のブランド化な

どを積極的に進めていく事が確認されました。総会終了後には、大阪大学大学院工学研究科の中谷氏を招き、「瀬戸内海の栄養塩はどこまで管理できるのか」をテーマに学習会を開催いたしました。大阪湾での過去20年間の栄養塩の推移や、兵庫県各地の処理施設から放出された栄養塩の拡散シミュレーションのデータを見ながら、栄養塩管理の展望をご教授いただき、参加者は熱心に聞き入っていました。



通常総会



学習会

但馬地区漁協

青壮年部連合会

6月5日（月）に但馬水産事務所庁舎内会議室において令和5年度通常総会を開催しました。令和4年度事業報告並びに決算承認の件、令和5年度事業計画並びに予算承認の件、令和5年度会費賦課額及び徴収方法決定の件の3議案について審議され、全て異議無く承認されました。今年度は、通常の活動を実施出来るよう、部員一丸となって頑張りま

播磨地区漁協

女性部連合会

播磨地区漁協女性部連合会は、6月21日（水）、兵庫県水産会館にて、5会員13名となぎさ信用漁業協同組合 黒田理事長はじめ来賓5名の出席のもと令和5年度通常総会を開催しました。

総会は、高山会長の挨拶、黒田理事長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。

令和4年度事業報告、収支決算、令和5年度事業計画・収支予算、令和5年度会費賦課額及び徴収方法、任期満了に伴う役員改選について承認され、滞りなく終了しました。

- 会長：高山 淳子（JF明石浦）
- 副会長：隅谷 成美（JF林崎）
- 津田 礼子（JF室津）
- 監事：近藤 邦美（JF東一見）
- 小林千佐美（JF坊勢）

（敬称略、順不同）

淡路地区漁協女性部連合会

6月13日（火）、淡路水産センターにて、令和5年度淡路地区漁協女性部連合会通常総会が開催されました。

6会員11名と来賓の洲本農林水産振興事務所 内田径孝所長補佐兼水産課長、洲本農林水産振興事務所 水産課 桂基晃氏、（一社）淡路水交会 奈良事務局長の出席のもと、令和4年度事業報告及び収支決算、令和5年度事業計画及び収支予算、淡路地区漁協女性部連合会規約の一部改正、任期満了に伴う役員改選について承認され、滞りなく終了しました。

- 会長：森 武美（JF福良）
- 副会長：森 智恵美（JF森）
- 監事：相田 幸子（JF仮屋）

（敬称略、順不同）

但馬地区漁協女性部連合会

6月20日（火）、但馬水産事務所にて、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が会員24名と但馬水産事務所 水田所長はじめ来賓4名の出席のもと開催され、令和4年度事業報告、収支決算並びに令和5年度事業計画、収支予算、任期満了に伴う役員改選について承認され、滞りなく終了しました。

なお、新役員は次のとおりです。

- 会長：山中チエミ（JF但馬香住）
- 副会長：吉野美妙子（JF但馬津居山）
- 川越 恵子（JF浜坂）
- 理事：沼田 節子（JF但馬柴山）
- 木下真由美（JF但馬津居山）
- 山崎美穂子（JF浜坂）
- 監事：吉田 厚子（JF但馬香住）
- 村瀬美津子（JF但馬柴山）

（敬称略、順不同）

瀬戸内海再生議員連盟総会

JF兵庫漁連 指導部豊かな海づくり担当

瀬戸内海再生議員連盟総会が6月13日参議院議員会館内で開催されました。

末松信介事務局長による進行の下、山本順三会長より「瀬戸内海が綺麗になりすぎて、魚がだんだん棲まなくなってくる弊害が起こってきた。我々は豊かな海をスローガンとして、様々な対策を講じるため、平成27年瀬戸法改正では豊かな海を作る流れを具体化し、令和3年6月には栄養塩類の適切な管理を含む法改正を行った。美しく綺麗でなおかつ豊かで、漁民の皆さん方もしっかりと生業を立てることができ、そんな流れを作りあげていきたい。」と挨拶が行われました。

議題に入り、環境省・国交省・水産庁、兵庫県・香川県から豊かな海に向けた取り組みについて資料説明がありました。特に、兵庫県からは齋藤元彦知事より資料説明の後、「今後とも豊かで美しい瀬戸内海を目指して、これまでに以上に関係者一丸となって進めて参ります。」と発言がありました。

場干潟の再生創出、③海ゴミ対策、④気候変動対策に関する要望書を提出しました。

田沼会長より、「豊かな海の法制度はできましたが、漁業にとっては厳しい状況が続いている。昔のように、魚が湧く海に1日でも早く戻るよう、引き続き、先生方からのお力をお願いしたい。」と要望されました。

続いて、JF香川漁連 嶋野勝路会長、JF広島漁連 渡邊雄蔵専務、JFえひめ 杉義晴専務より、栄養塩類の管理に向けた国からの後押し、季節別の更なる栄養塩供給、河川からの流入促進、藻場・干潟の再生、底質改善など、関係省庁が連携した施策の実施を求めました。

最後に本連絡会議として、JF兵庫漁連 突々 淳専務より、「瀬戸内海で全窒素0.2mg/L※を超える海が広がっていた2000年頃の豊かできいな海を目指してほしい。」と資料説明を行いました。

意見交換では、関芳弘議員より、「垂水下水処理場で、栄養塩を沢山だそうという難しい運用だが、お願いしたい。神戸と大阪とは水の循環が重要。大阪湾全体で上手くできるよう、大阪の工

事（大阪湾流域計画※）での工夫を頑張ってもらいたい。」と国土交通省へ求められました。

また、酒井庸行議員より、「三河湾でも下水処理で綺麗な海にならなかった。それでアサリや魚がいなくなってきた。これではダメだと、5年前からリンを入れるようにしたけど、簡単には元に戻らない。瀬戸内海は（三河湾よりさらに）広いから大変だが、努力していかねければならない。」と発言がありました。

終わりに、山本順三会長より「法律が変わっても中々現状はついていけないということが、今日の話であった。頂戴した要望書に対する答えを作るべく、努力をしていきたい。また、瀬戸内海各府県がバラバラに色んなことをやるのではなく、連携プレーをとって、各府庁の強い意思を合わせて、答えをだしていきたい。」と閉会挨拶をもって締めくくられました。

出席議員（23名出席）

- 山本 順三(愛媛)、末松 信介(兵庫)、逢沢 一郎(岡山)、渡海紀三郎(兵庫)、盛山 正仁(兵庫)、関 芳弘(兵庫)、石井 正弘(岡山)、加田 裕之(兵庫)、古庄 玄知(大分)、小島 敏文(広島)、井原 巧(愛媛)、塩崎 彰久(愛媛)、北村 経夫(山口)、越智 俊之(広島)

- 大野 泰正(岐阜)、江島 潔(山口)、瀬戸 隆一(香川)、酒井 庸行(愛知)、三宅 信吾(香川)、松本 剛明(兵庫)、進藤金日子(全国)、藤井比早之(兵庫)

(補足説明)

※全窒素0.2mg/Lには、無機態窒素約2.5μmol/Lが含まれています。
※流域別下水道整備総合計画の略称で、下水道の整備計画や計画処理水質（下水道から放流される全窒素全リン等の許容上限濃度）等を定めるものです。



北朝鮮の弾道ミサイル

JF浜坂所属漁船の近くに落下

齋藤知事へ要望

6月15日夜、北朝鮮が弾道ミサイルを発射し日本の排他的経済水域内(EEZ)の石川県舩倉島の北北西約250キロに落下したとみられています。

当日はJF浜坂所属の漁船が、落下したとみられる海域から約50キロ離れた場所で操業を行っていましたが、漁船に被害はなく、乗組員全員の無事が確認されました。

16日、兵庫県漁業協同組合連合会 田沼政男代表理事長、浜坂漁業協

同組合 川越一男組合長が兵庫県庁を訪れ、齋藤知事と会談を行い、県が政府に対して安全対策を申し入れるよう要望を行いました。



令和5年7月から9月における海難防止活動について 神戸海上保安部

神戸海上保安部では、管内における四半期(3か月)ごとの海難発生傾向を分析し、この分析結果に基づき、海難防止活動計画を策定しています。今回は、令和5年7月から9月にかけて、海難防止活動を行います。夏から秋にかけてマリナーレジャーが活発となる時期であり、主にプレジャーボートや水上オートバイなどの小型船舶への海難防止啓発を中心とした活動を行います。漁業に関係するものとして、以下を重点に置き、啓発活動を行います。漁業関係者の皆様方におかれましても活動へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

・しらす漁における安全対策の推進

- 「2そう曳き漁にかかる操業形態の周知及び衝突防止」
- 操業中における「常時適切な見張り」「接近する貨物船等接近時における積極回避」

※7月から9月の期間も操業が行われるため、しらす漁が行われる期間中は、継続して啓発活動を行います。

・海苔養殖施設乗揚げ防止推進活動

- 「常時適切な見張り」「水路調査」「船位確認」
- 養殖施設設置海域の迂回航行(原則)

※海苔養殖施設の設置時期である9月から乗揚海難が発生し始める。

・秋季安全推進活動

- 操業中及び漁場移動中における常時適切な見張り(航行中及び遊漁中のプレジャーボートとの衝突防止)
- 救命胴衣の着用
- 操業中における作業手順の確認、見直し(揚網機等への身体巻き込まれ防止)
- 単身乗船者(複数での乗船、僚船同士の状況確認、定時連絡の推奨)
- 高齢者(体調に応じた出漁の判断、各自の体力に合わせた作業の実施)



▲のり網養殖施設等の漁場 図の掲示(マリーナ内)



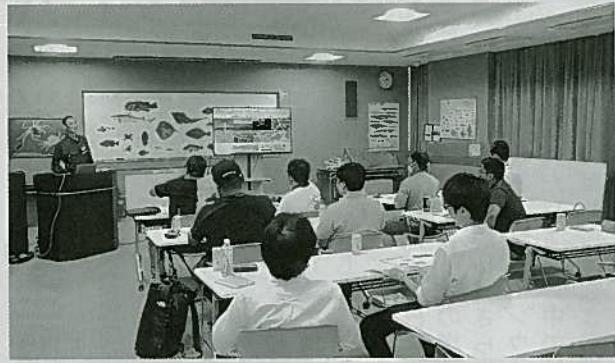
▶のり網養殖施設乗揚げ防止合同パトロール

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。 **海の安全情報** で 検索

パソコン用サイト	スマートフォン用サイト	携帯電話用サイト	緊急情報配信サービス
https://www.w6.kaiho.mlit.go.jp/	https://www.w6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html	https://www.w6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html	https://www.7.kaiho.mlit.go.jp/mksmail/reg/tauroku.html

大輪田塾だより

兵庫県立水産技術センター 座学・施設見学



6月20日(火) 大輪田塾6月講義が兵庫県立水産技術センターで開講され、塾生7名が受講しました。
水産技術センター 上席研究員 魚住香織氏から、「兵庫県におけるイカナゴの現状と課題について」として、備瀬瀬戸、播磨灘、大阪湾に生息するイカナゴを中心に資源調査して得たデータを基に講義がなされました。講義後、船曳き網漁業を営む塾生から質問や意見が寄せられ、講師と塾生、塾生と塾生の間で活発な意見交換がなされました。



引き続き、水産技術センター 水産専門技術員 中桐 栄氏による水産技術センター内の施設見学が行われ、平石館長から豊かな海について話されました。

6月20日(火) 淡路市立学習小学校5年生56名を対象に、稚魚の放流やタッチプールなどの体験を交えた水産教室が開催されました。
児童は仮屋漁港内でヒラメの稚魚を560匹、アナゴの稚魚を60匹放流した後、タッチプールでサメやタコ、アナゴなどに触れ、海の生物を身近に実感しました。



放流



水産教室



タッチプール

た豊かな海について話されました。今回の水産教室を経て、地元で漁獲される魚や海の現状について理解が深まった1日になりました。

JF仮屋で水産教室が開催される

大輪田塾




☆募集は
8月末まで!

第19期 入塾生募集



人とのつながり、
学びの場、
それが大輪田塾!

～ 塾生からのメッセージ ～

 <p>第9期生 井田 覚 (系統団体職員)</p> <p>系統職員として入塾し、浜や漁業者が身近な存在になりました。同期生には、組合長となり活躍されている方もおり、入塾により得られた人脈は、今の業務に非常に役立っております。 今更、机に座っての勉強は嫌だと思われる方も結果的に入塾を後悔する事はないと自信を持って言えます。</p>	 <p>第16期生 高濱 功匡 (漁業者)</p> <p>2年間大輪田塾に通い、勉強させてもらいましたが、講義で得られた知識と自分の浜以外の人との繋がりができたことがものすごくありがたかったです。できればもう2年ぐらい通いたかったです。(笑)</p>	 <p>第17期生 糸谷 謙一 (漁業者)</p> <p>親父の後継いで漁師になったけど、魚も減り、売れんし、将来不安だなと感じているその君! また、友人に誘われたり、海が好きで漁師になってくれたその君! 持続可能な漁業? 海の環境? 組合とは? この先どうすればいいか? 答えは大輪田塾にあるよ! 海を守る仲間になりませんか?</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※お問い合わせは漁協へ、または兵庫県水産振興基金まで!

兵庫県水産振興基金 ☎ 078-919-1331

次世代の農業を見据えて 良食味米の栽培に取り組む

丹波篠山市の阪東佑貴さんは、大学卒業後、1度は会社に就職しましたが、「農業の魅力を伝えていきたい」という思いと父親が兼業農家から専業農家になったことをきっかけに就農し、現在は、コシヒカリや丹波篠山市の特産品である黒大豆等を栽培しています。

コシヒカリは肥料の成分で食味や収穫量が変化します。阪東さんは、コシヒカリの食味をよくするために、窒素分を減らし、その代わりに鉄やマグネシウムを多く配合した肥料を使用しています。また、土壌診断の結果や稲の生育状態から、成分を調整をしています。

地域貢献活動にも取り組む阪東さんは、地元の保育園児や小学生に農業体験の場を提供したり、地元の高校生を対象にドローンの操縦体験を実施しています。

地域貢献活動に積極的に取り組む阪東さんは、JA丹波ささやま青年部の代表として、令和4年度近畿地区JA青年大会でこれらの取り組みを発表し、最優秀賞を受賞し、JA全国青年大会に出場しました。

JA丹波ささやま営農部営農指導課営農指導係の小出夏実さんは、「阪東さんは、農業や地域を盛り上げるため、水稲や黒大豆の栽培だけでなく、地域貢献活動にも積極的に取り組む若手生産者の1人です」と話します。

阪東さんは、今後も、地域貢献活動と食味の良い米の栽培に取り組む、丹波篠山市の農業を盛り上げていきたいと意気込みます。



<https://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

すべての議案審議が滞りなく終了 ～第73回 兵庫県生協連 通常総会 開催～

〈基本テーマ〉
「つながる力で未来を拓く
～平和で持続可能な社会の実現～」

6月26日(月)兵庫県民会館で兵庫県生協連第73回通常総会を開催しました。

代議員総数35名中、35名が出席(実出席23名、書面議決12名)し、2022年度活動報告、2023年度活動計画など5つの議案について審議し、全議案が可決されました。

初めに岩山利久 会長理事が「世界的に気候変動による自然災害の甚大化とともにコロナパンデミックの影響、ウクライナ戦争の先行き不透明な状況などから、エネルギー、食料をはじめとして資源の価格が高騰しています。兵庫県生協連は『たすけあい、わかちあいの、協同互助の精神』のもと、『誰もが、安全安心に暮らせる社会づくり』の実現に向けて尽力してまいります」と挨拶しました。続いて、来賓を代表して兵庫県民生活部長 井ノ本知明氏、神戸市 地域協働局 消費生活センター 所長 森本幸治氏、兵庫県農業協同組合中央会 代表理事専務 高品藤吉氏、日本生活協同組合連合会 関西地連 事務局長 村上 毅氏から、それぞれ大会の盛会と今後の発展を祈念したご祝辞をいただきました。

総会では、コープこうべ 冬頭佐智子代議員が議長に選任され、議事を進行。第1号議案、第2号議案の審議を行い、続いて第3号議案、第4号議案、第5号議案についても提案と審議が行われ、全ての議案が可決・承認されました。また役員補充選任と第1回理事会の結果、新しく兵庫県生協連 理事に岡田健二氏(神戸市民生協 事務局長)、兵庫県生協連 監事に多村孝子氏(コープこうべ 常務理事)が就任しました。



兵庫県生活協同組合連合会
岩山利久 会長理事

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

表紙の言葉



室津漁業協同組合 照岡永都さん

今回のインタビューは室津でカキ養殖業、船曳き網漁業を営む吉田水産で、入社3年目の照岡さんにお話を伺いました。香住高校で得た知識を活かして新しいことを学びたい、これからも新しいことにチャレンジしていきたいと、終始前向きな発言が照岡さんから話されました。

拓水6月号 誤記修正のお知らせ

拓水800号(令和5年6月)に掲載しました『JA 先進技術と手作業を組み合わせ、大粒で甘いイチゴを消費者に届ける』におきまして、記事の内容に誤りがありましたので、以下のとおり訂正させていただきます。

訂正内容 【誤】 八田支店、八田町 【正】 八多支店、八多町

ようそろ

～ずっと真っ直ぐに～

(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときの号令として使われる)



バケツの中の生態系

兵庫県漁業協同組合連合会 のり海藻部部長代理 中谷 明泰

黒・紅・白・青・ラメ他、色彩豊かな改良メダカがブームになって数年。私もコロナ禍を経てそのブームに乗り、現在、飼育容器50個以上、数百匹のメダカを飼育している。一匹数万円のメダカを殖やしてネットで販売する人もいるが、私はお金儲けのためではなく、繁殖の楽しみや癒しのため、飼育そのものを楽しんでる。

100均バケツ(10L)にメダカ20〜30匹(過密)、ホテイ草2株程度を入れ、給餌は1日2回で飼育していくと、日当たりの良い場所では、換水2日後には植物プランクトンの増殖により水が緑に色づき始め、バケツの底には糞や餌の食べ残しが溜まり始める。さらに数日経てば、水は濃い緑色となり、バケツ内はいわゆる赤潮状態となる。グリーンウォーターと呼ばれ、稚仔魚には餌となり良い水でもある一方、閉鎖されたバケツの中ではそうはいかない。昼間は光合成により十分な酸素が供給されるが、夜間は呼吸により酸欠状態となり、最悪、メダカは死に至る。そうなる前に換水し、バケツの壁面をたわしで擦り、附着藻類や汚れを落とす。その作業の中で、バケツという閉鎖された環境でみられる現象が、播磨灘や大阪湾で起こっている様々な現象とリンクしていると感じることがある。水温が上昇し日照時間が長ければ、藻類の増殖が活発となるが、その逆の場合は、藻類の増殖は抑えられ、水の着色も少ない。また、底に砂利を敷き、水草、巻貝を投入すれば、バケツの中の環境はより安定するであろう。見た目だけの管理、すなわち毎日、換水していれば、透明度は保たれるが、浄化の働きをするバクテリア等が増えない。実際の海では、栄養塩が多く港内など水の動きが少なく滞留しがちで、プランクトンをはじめとする生物が存在するところ、赤潮は発生することが多い。見方を変えれば、赤潮生物が過剰に存在する栄養塩を消費して、正常な状態(濃度)に戻し、死滅した後、その死骸が底に沈み分解された後、再び栄養塩として溶出することにより物質循環させていると考えてもいいのではないかと思う。本当に生物が息できないところでは赤潮は発生しない。富栄養化が原因とする有害プランクトンの発生ばかりがクローズアップされ、総量規制等が行われることとなり現在に至っているが、農地の減少、下水道の整備等により陸域からの負荷が少なくなったことで、沿岸域の浄化能力そのものが低下しているのではないかと、また一年を通して、環境負荷をかけながら自然の浄化能力を上げていくことも必要ではないかと、メダカの水換えをしながら感じていきます。



ガザミふやそう会 会員募集!!

「ガザミふやそう会」は、県内漁業者、JF、系統団体のほか、一般市民や他県の水産関係者からの会費によって、抱卵ガザミを買い上げ、自然の力でガザミ資源を増強しようという取組みを、昭和61年から継続して行っています。

今年も同会の会員募集を行っております!
全国でも行われる「兵庫発」の取組みに是非ご賛同下さい!!

同会は抱卵ガザミのほか、期間・時期を問わず、①甲幅長12センチ以下のガザミ、②脱皮直後の柔らか甲羅ガザミの再放流も行っています。
※抱卵ガザミの保護期間は毎年5月1日～9月30日までで、対象海域は大阪湾・播磨灘としています。

- 会費・入会に関して
- ・会費は1,000円/年です。
- ・会員の証として、オリジナルQUOカード(500円分)をお渡ししています。
- ・詳しくはJF兵庫漁連ホームページをご覧ください。

【事務局】
〒673-0883 明石市中崎1丁目2番3号 兵庫県水産会館内
JF兵庫漁連 指導部 ガザミふやそう会事務局
TEL: 078-940-8013 FAX: 078-917-3811

ひょうごの海の情報発信基地 漁連の魚屋

ひょうごのお魚ファンクラブ



J F 兵庫漁連 SEAT-CLUB です。

今月は「漁連の魚屋」をご紹介します。

漁連の魚屋は兵庫県内で水揚げされた新鮮な鮮魚や活魚、当店オリジナルのお寿司やお惣菜など「兵庫の海の美味しいもの」を一か所に凝縮したお店で、現在は三田店・加古川店の2店舗を展開しています。

コロナ禍の影響でイベント等はしばらくの間、制限されていましたが今年に入り徐々に無料試食会等のイベントも再開しています。

まだご来店いただいている方は是非一度お越しください。

スタッフ一同美味しい魚をご用意してお待ちしております。



SAKANAYA_HYOGO

Instagram

から詳細情報にアクセス！
アカウント登録もよろしくお願ひします。



SEAST-CLUB の
HP はこちら

漁連の魚屋 三田店

2016年4月2日にグランドオープンした漁連の魚屋の
一号店です。

県内で水揚げされた新鮮な鮮魚や活魚、オリジナルの
お寿司やお惣菜など「兵庫の海の美味しいもの」を一か
所に集めたお店です。

魚の品ぞろえの幅広さはもちろん、JA兵庫六甲の直売
所「パスカルさんだ一番館」の中に店舗があるため、
兵庫県産の魚だけではなく地場産の野菜までお買い求
めいただけます。



漁連の魚屋 加古川店



アリオ加古川1階のショッピングフロアに2021年10月
28日(木)グランドオープン！！

県内で水揚げされたばかりの魚介類や刺し身、お寿司、干
物、調味料、加工品などを取り揃えて皆様をお待ちしてお
ります。

店内の壁は、海の紺碧色に県内で漁獲されるタイやハタハ
タ、ノドグロ、ガザミなど68魚種のイラストを配し、映
像モニターでは漁の様子やレシピ等の動画を流して兵庫の
漁業、魚の食べ方などを発信しています。

身近なひょうごの地魚に親しみ、おいしさを伝える場所と
して皆様に親しんで頂ける魚屋を目指しています。

保存版

今が旬の魚介で作る！！

簡単!! 魚介レシピ

明石ダコ飯海苔巻き

【タコのやわらか煮】

生タコ	1匹
濃口醤油	10ml
たまり醤油	20ml
ザラメ糖	30g
昆布水(昆布1枚)	200ml

材料

【タコ飯】

ポイルダコ	150g
人参	30g
ごぼう	30g
油揚げ	1/2枚
昆布	1枚
米	2合
A) 薄口醤油	大さじ1
A) 酒	小さじ2
A) 塩	小さじ1/4

【厚焼き玉子】

卵	4個
砂糖	大さじ2
塩	2つまみ
油	適量
きゅうり	1本
板海苔	4枚
みょうが	1本

作り方

【タコ飯】

- ① 米は洗い、炊飯器の基本の水位より水大さじ4杯を減らす。
- ② タコは薄切り、人参は千切り、ごぼうはささがき、油揚げも細かくきざむ。
- ③ 米にAと②を加えてざっくりと混ぜ、普通炊きして冷ましておく。

【タコのやわらか煮】

- ① 生タコはスミ抜き、ヌメリを取り洗い切り分ける。
- ② 圧力鍋に昆布水を入れ中火にかけ、沸騰直前に昆布を取り出し、
- ③ 調味料とタコを加えて蓋を閉める。
- ④ 圧力がかければ弱火にして10分加熱、火を止め自然冷却後に取り出す。

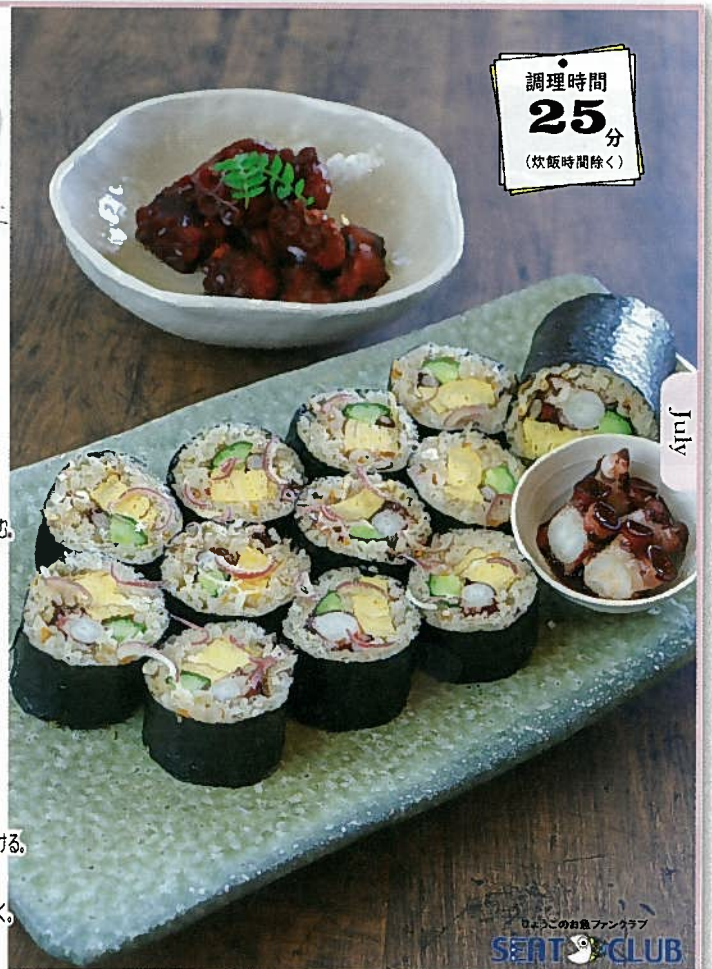
【厚焼き玉子】

- ① 玉子焼き器に油を熱し、調味料を加えてよく溶いた
- ② 卵液を数回に分けて流し入れながら焼きあげ、冷めてから8本に切り分ける。
- ③ きゅうりは縦4本に切る。みょうがは芯を除いてきざむ。
- ④ 巻き簾に板海苔をおき、タコ飯を広げ、きゅうり、タコ、玉子焼きを巻く。
- ⑤ 同様に4本巻き、切り分けて器に盛り、みょうがを散らす。

調理時間

25分

(炊飯時間除く)



July

ひょうごのお魚ファンクラブ
SEAT CLUB